



AUTOGLYM
Wheel Care Kit

アルミホイール お手入れガイド



(メッキ・ホイールには使用出来ません)

Premium Car Care Japan K.K.
All Rights Reserved, Copyright (C) 2010

1～2ヶ月毎を目安に定期的にアルミホイールのコーティングをしておくことで、普段の洗車時には軽い洗浄だけで、簡単にブレーキダストを洗い流すことができます。

1 STEP ① クリーニング [ホイール冷却]

洗浄を始める前に、ホイールを冷まします。

- 洗浄の前に、必ずホイールが冷めていることが大切です。
- ホイールが熱い場合は、水道水などを用いて冷却し、ホイールの熱が冷めたことを確認してから作業を開始します。(液剤の乾燥による、ホイールへのダメージを防ぐためです。)

2 STEP ② クリーニング [洗浄]

専用開発の洗浄剤とブラシで、効果的に洗浄します。

- クリーン・ホイールをホイールに直接スプレーし、液剤が乾燥しないように注意しながら、2～3分間放置します。(水で薄まると洗浄力が低下しますので注意下さい。)
- スポンジなどで、ホイールの汚れを擦り洗います。(軍手などを用いても、素早く作業が可能です。)
- こびり付いたブレーキダストはキッチン用のウレタン・スポンジなどで強く擦ると、素早く汚れを取り去ることが出来ます。
- ホイール・ナットやバルブ周辺の狭い隙間は、ハイテック・ホイール・ブラシの先端を用いて、叩くように洗浄すると、素早く汚れを落とすことが出来ます。

3 STEP ③ クリーニング [すすぎ・乾燥]

水をたっぷり使ってすすいだ後に、乾燥させます。

- 液剤が残らないように、水をたっぷり使ってすすぎます。
- 洗浄後、引き続きコーティング作業を行う場合は、ウエス等で表面を乾燥させます。

4 STEP ④ コーティング [保護被膜形成]

乾燥したホイールに保護被膜をつくります。

- アロイ・ホイール・シールをホイールに直接吹きかけます。ブレーキパーツに掛かる恐れがある場合は、適当なウエスなどに取ってから作業します。
- 表面を乾拭きして完了です。

5 STEP ⑤ 通常メンテナンス [お手入れ]

定期的なメンテナンスはボディシャンプーでも。

- アロイ・ホイール・シールの保護被膜効果の働きで、ブレーキダストのこびり付きが低減されます。
- デイリーな洗浄は、ボディーク・シャンプー・コンディショナーでボディークと一緒に洗浄して下さい。
- 汚れが気になったときは、必要に応じてクリーン・ホイールを用いて①～③の作業を行って下さい。

準備するもの：

- 水道水・ホース
- クリーン・ホイール
- ハイテック・ホイール・ブラシ
- アロイ・ホイール・シール
- ウエス・タオル



Clean Wheel
¥1,890-
商品 No. AG21



Hi-tech Wheel Brush
¥2,730-
商品 No. AG34



Alloy Wheel Seal
¥1,890-
商品 No. AG22

詳しい情報は www.autoglym.co.jp をご覧下さい